

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』

実施レポート

学校名	栃木県鹿沼市立北押原小学校	実施日	平成25年11月14日(木) ～12月5日(木) 計6回
担当教員名	村山 智彦	実施学年・人数	6年生 37名
学校・学級紹介	鹿沼市南部に位置する中規模校。クラスは6年生で37名。男子21名、女子16名のとても元気なクラス。		
実施内容	6時間の単元として実施。37名を6チームに分けて1チーム6、7名で行った。1時間目以外はゲーム中心に行い、6年生なのでより楽しめるルールや条件について考えさせた。 11月28日(木)には、地区教育会小学校体育部会の研究授業として、5時間目のところを行い鹿沼市・日光市の先生方 30名近くが参加された。審判やアドバイスをもらうため、地域のラグビー経験者1名を毎時間ボランティアティーチャーとして招き、担任と2人で授業を行った。		
指導のポイント	<p>【1時間目】 ボールや動きになれる 【2・3時間目】 ゲームに慣れる 【4・5時間目】 ゲームを通して自分たちに合ったルールやグラウンドの広さなどを考える 【6時間目】 リーグ戦を行う</p> <p>子どもたちがより主体的にゲームに参加できるように、スローフォワードと危険な接触プレー以外は流しました。また、自分たちの技能にあったルール(タグの回数やゲーム中にチーム全員がボールにさわること等)やグラウンドの広さを考え、よりゲームが楽しめるようにしました。</p>		
感想・印象 今後の展望	<p>初めの頃は前に走れず、すぐにパスしてしまう児童も多かったが、少しずつラグビーの動きに慣れてくると、しっかりと走れる児童が増えた。6分or7分のゲームを行ったが、運動量がしっかりと確保できて、汗をかきながら運動していた。他の種目ではなかなか活躍できない児童がトライしたり、タグを取ったりする場面が見られ、とても良かった。本人も嬉しいと言っていた。</p> <p>担任がラグビー経験者だったので、ボランティア1名で実施できたが、37名6チームでは2名の経験者が必要だと思う。指導者派遣制度のようなものもあるともっと普及すると思う。</p>		